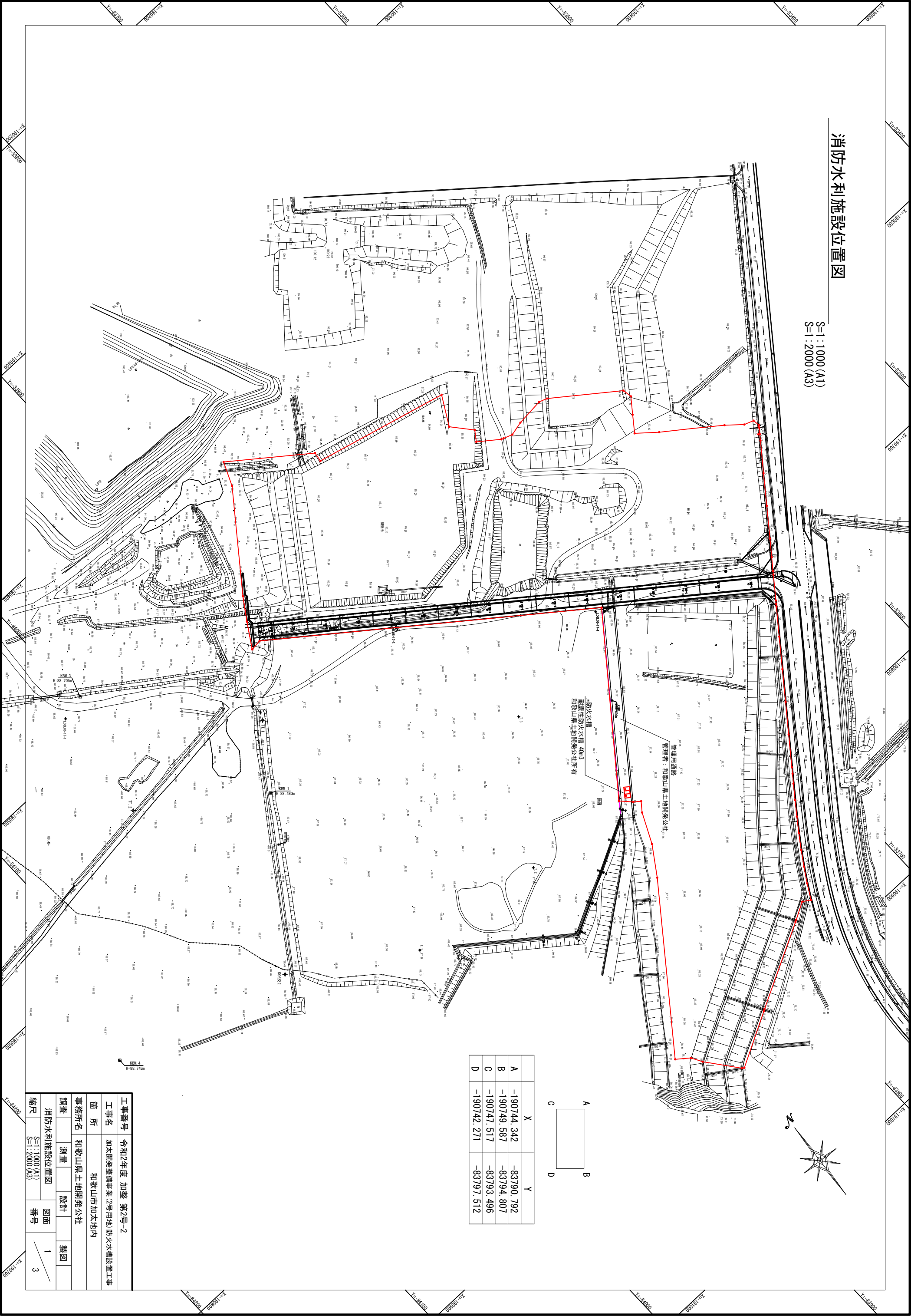


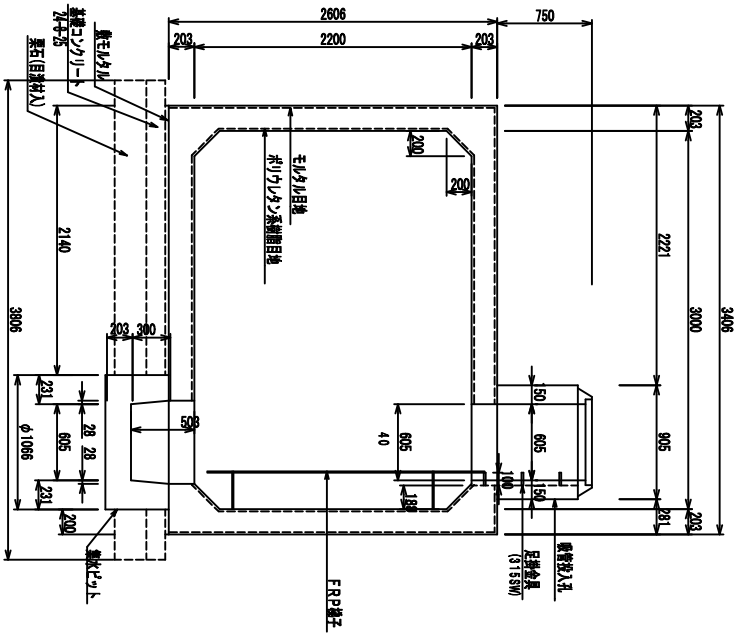
消防水利施設位置図

S=1:1000 (A1)
S=1:2000 (A3)



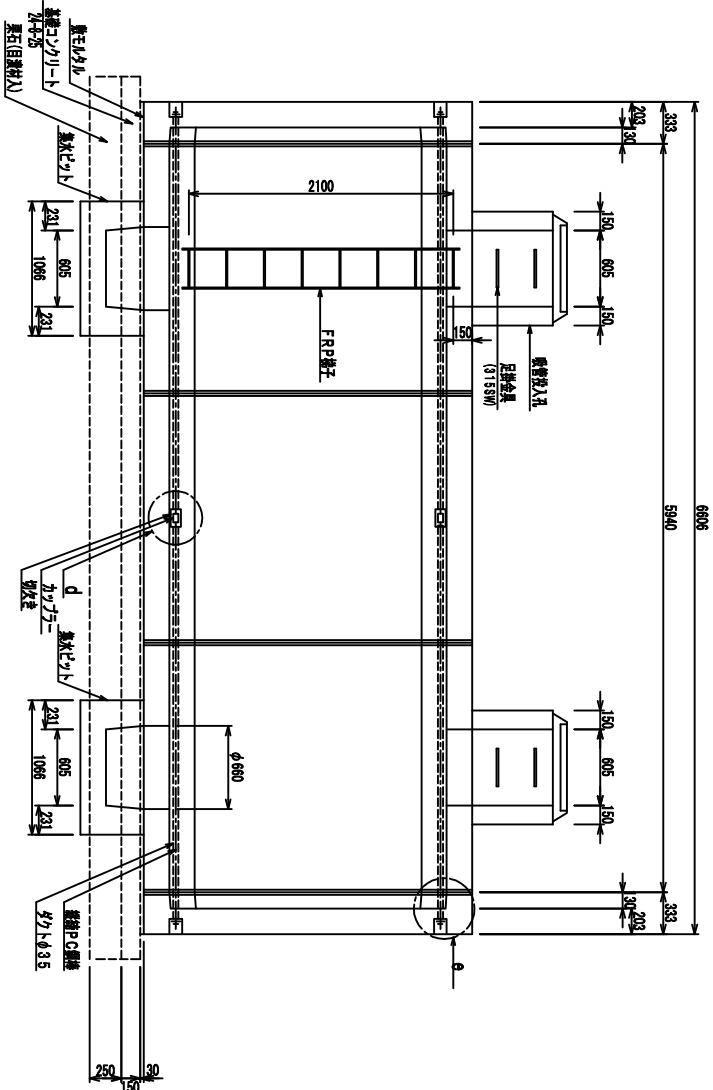
二次製品耐震性貯水槽（40m³）構造図

断面図 A-A



S=1/30

断面図 B-B

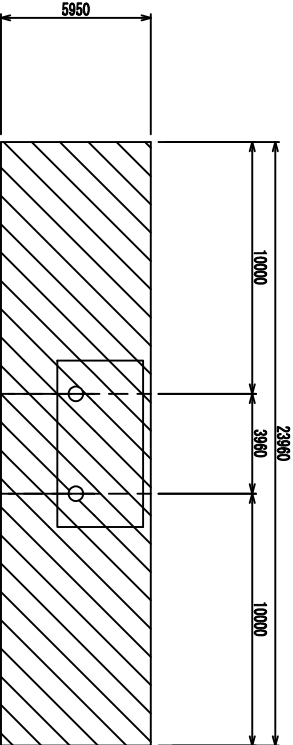


二次製品耐震性貯水槽（40m³）明細書

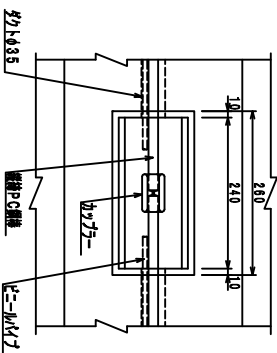
40 m ³			
工 型（道 用）			
T-25			
容 量	40 m ³		
設置場所	T-25		
荷 重	Hd = 0.4 ~ 1.0 m (0.75 m)		
土かぶり	Hd = 0.4 ~ 1.0 m (0.75 m)		
主 材 料	種 目	数 量	備 考
B フラック	3000×2200×1980	1 個	収容
C フラック	3000×2200×1980	2 個	入型
D フラック	3000×2200× 333	2 個	背面板
雨水投入口フラック	φ605, H=640	1 個	
雨水投入口フラック	φ605, H=640	1 個	
集水タンク	φ660, H=503	2 個	
FRP継手		8 個	
継手PC継手	SBR-930/1080-φ13, L=3265	4 個	継手用
定 着 具	φ13用 フラック、フラック、フラック	8 個	継手用
取付用金具	M20φ60, フラック	10 個	集水タンク用
受付け口蓋	φ600	2 個	集水タンク用
取付用金具	継手φ16 (M16ナット), 又はナットM16 フラック、フラック	6 個	集水タンク用

砕石鋪装工

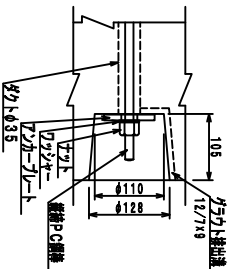
厚さ10cm



d 部 詳 細 図

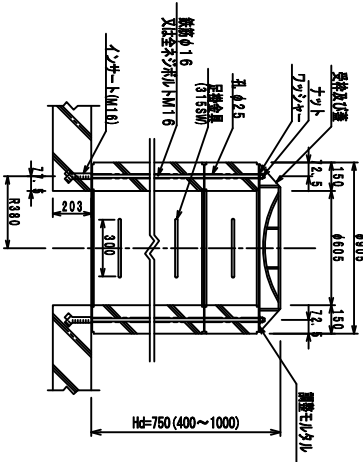


φ 部 詳 細 図



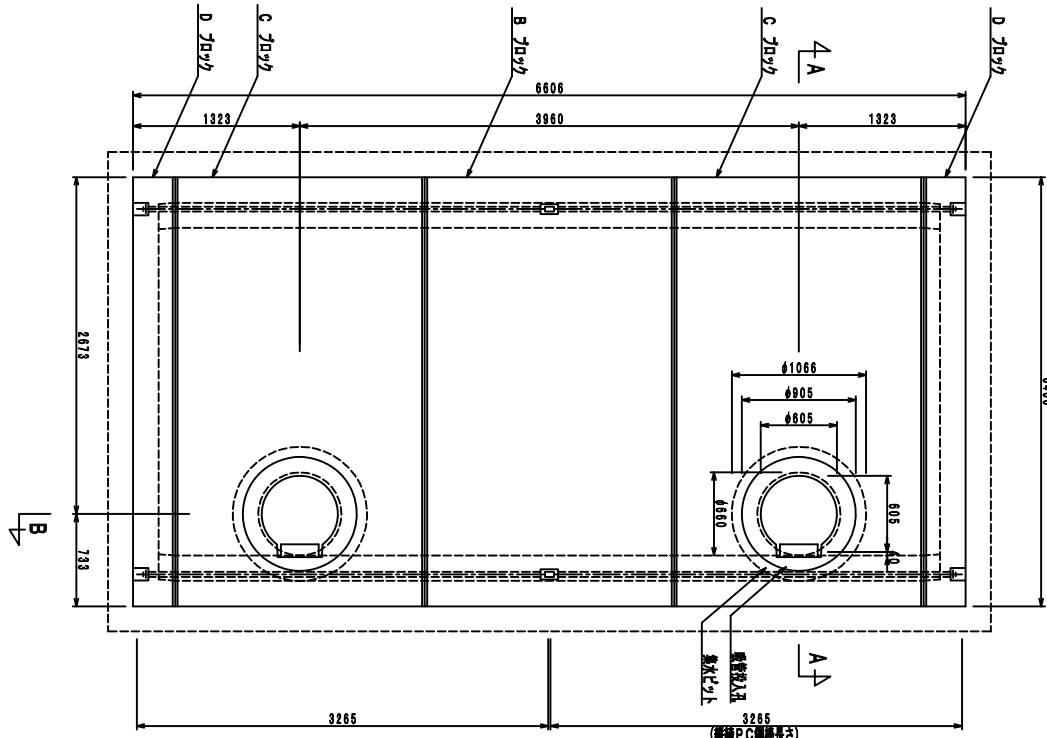
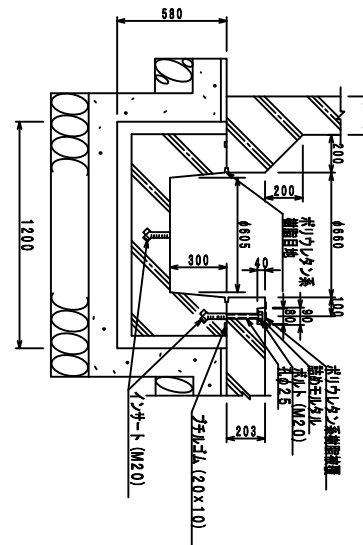
雨水投入口 S=1/20

断面図



集水タンク S=1/20

断面図

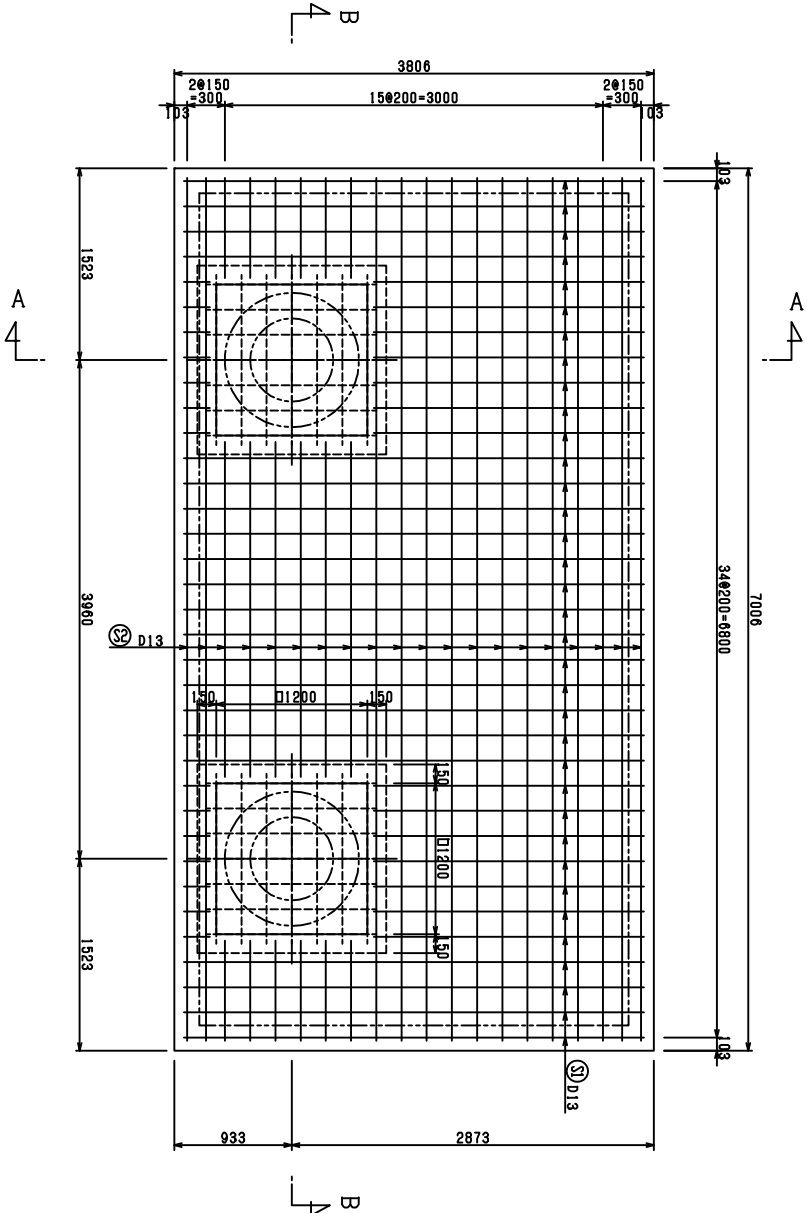


年度	令和2年度 加整 第2号-2
工事名	加太開発整備事業(2号用地)防火水槽設置工事
箇所	和歌山市加太地内
事務所名	和歌山県土地開発公社
調査	測量
設計	設計
製図	製図
防火水槽構造図 (40m ³)	図面
縮尺	(A) S=1:30
番号	2
	3

材 料 強 度	単位 N/mm ²
コンクリート	設計基準強度 f _{ck} = 24
鉄 筋	許容応力度 σ _{ca} = 9
	許容応力度 σ _{sa} =180

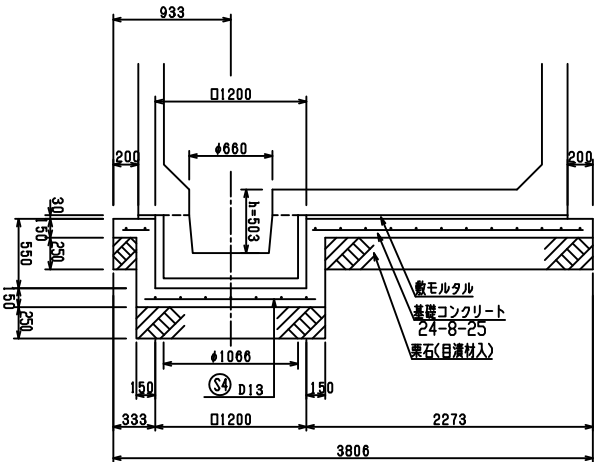
二次製品耐震性貯水槽（40 m³） 基礎コンクリート構造図 S=1/30

平 面 図



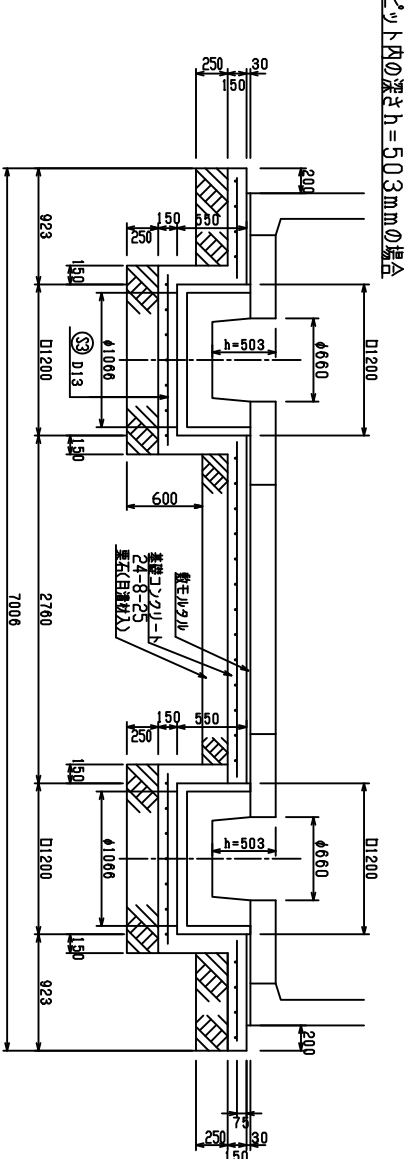
A-A 断 面 図

ピット内の深さh=503mmの場合



鉄筋表 (1式当たり)				
記 号	径 (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	全量 (kg)
S 1	D13	49	0.995	109.2
S 2	D13	32	0.995	121.0
S 3	D13	14	0.995	18.8
S 4	D13	14	0.995	18.8
				267.8
				267.8

B-B 断 面 図



ピット内の深さh=503mmの場合

基礎コンクリートについて

水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行った地盤の強固な場合は均しコンクリート（無筋コンクリート）を基本とし、地盤が比較的柔らかい（中位のもの）場合、砂質土層でN値が5以上10未満、または粘土質土層でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとすることで対応できる。また、基礎地盤のN値が5未満の場合は検討を要する。無筋コンクリートとする場合の基礎の形状寸法は、この図面に基つくものとする。

（参考）基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について			
基礎地盤	N 値	基礎コンクリート	
砂質土層	10以上	均しコンクリート（無筋コンクリート）	
	5以上10未満	鉄筋コンクリート	
	5未満	検討が必要	
粘土質土層	8以上	均しコンクリート（無筋コンクリート）	
	5以上8未満	鉄筋コンクリート	
	5未満	検討が必要	

*鉄筋は、SD345を使用する。

工事番号	令和2年度 加登 第2号-2
工事名	加太開発整備事業(2号用地)防火水槽設置工事
箇 所	和歌山市加太地内
事務所名	和歌山県土地開発公社
調査	測量
設計	設計
製図	製図
縮尺	S=1:30 (A1)
図面	3